

# 2025年度 一般勘定・介護勘定 予算

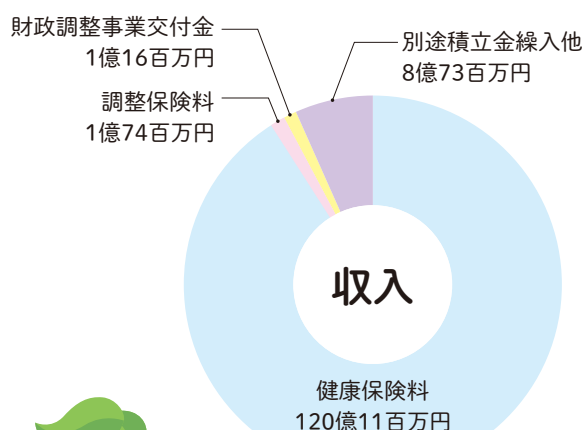
経常収支では**5億20百万円の赤字**に!

## 一般勘定 (健康保険)

○ 予算額…131億74百万円

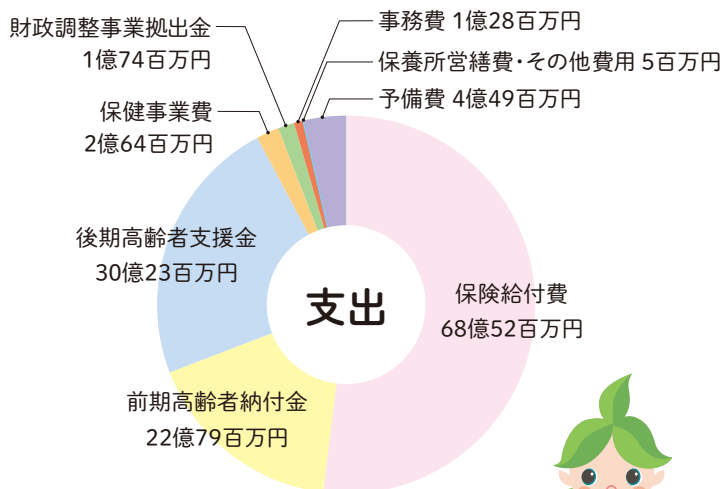
### 基礎数値

|                |                 |           |
|----------------|-----------------|-----------|
| 一般勘定<br>(健康保険) | 被保険者数           | 19,120人   |
|                | 平均標準報酬月額        | 439,656円  |
|                | 総標準賞与額          | 32,800百万円 |
|                | 健康保険料率          | 91.0/1000 |
| 介護勘定<br>(介護保険) | 被保険者数(特定被保険者含む) | 11,706人   |
|                | 平均標準報酬月額        | 478,100円  |
|                | 総標準賞与額          | 25,648百万円 |
|                | 介護保険料率          | 17.6/1000 |



### 収入のポイント

保険料収入は前年度並みを見込んでいますが、みなさんの医療費等に於ける「保険給付費」や高齢者医療制度を支えるために国へ拠出する「納付金」の増加による収入不足に備えるため、別途積立金を取り崩します。



### 支出のポイント

「保険給付費」は対前年度予算比102.7%、「納付金」は、同94.5%を見込んでいます。  
保険料収入に占める割合は「保険給付費」57.0%、「納付金」44.1%と、保険料収入だけでは賄えないほど非常に重い負担となっています。



## 保険料率の引き上げの検討が必要です

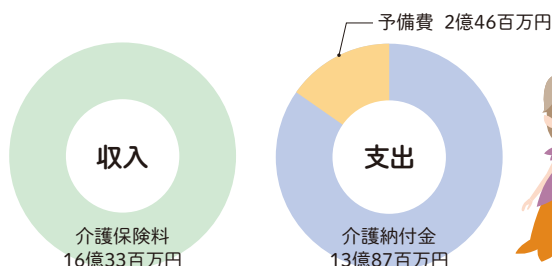
健保組合を取り巻く情勢は、今後さらに少子化が加速する一方、2025年には団塊の世代全員が後期高齢者となり納付金の急増が予想されるなど、これまでにない厳しい状況に置かれています。  
現行の保険料率では別途積立金が枯渇し、みなさんの医療費等の支払いに支障をきたす恐れがあるため、**2026年度以降は保険料率の引き上げも検討せざるを得ません。**  
当健保組合といたしましても、従来にも増して事業の見直しや、事務の効率化等による経費削減に取り組んでまいりますが、みなさんへ支給する医療費等や高齢者納付金も増加傾向にあるため、健保財政は楽観視できるものではありません。ご理解とご協力をお願いいたします。



## 介護勘定 (介護保険)

○ 予算額…16億33百万円

2025年度介護勘定(介護保険)については、年々増加する傾向にありますが、今年度は介護保険料率を1000分の17.6に据え置きます(本人1000分の8.8会社1000分の8.8)。



※端数処理の関係で合計が合わない場合があります。